

千葉県三と鹿沼

省三は、6歳の時から21歳で上京するまでの15年間を楡木（現在の鹿沼市楡木町）で過ごした。楡木尋常小学校、南押原高等小学校で学んだ省三は宇都宮中学校に進み、のちに歌人として名を成した深津出身の半田良平に出会い、文学を歩む契機となる多大な影響を受けた。

省三は、少年時代の思い出や体験をもとに、鹿沼を舞台に鹿沼の方言を使って多くの作品を書いている。

これらの作品には、魅力あふれるわんぱくな村童たちが登場する。彼らは、省三の小学校時代の友だちがモデルになっている。



旧制宇都宮中学時代の半田良平



旧制宇都宮中学時代の千葉県三(写真右)

子どものように、おどろきたい。
 子どものように、よろこびたい。
 子どものように、おこりたい。
 子どものように、大泣きに泣きたい。

『千葉県三集』の序文より

千葉県三の作品

省三の作品は大きく『郷土童話』『幼年童話』『大衆児童文学』『再話』の4つに分類できる。

郷土童話 省三は友だちとの遊びの体験や空想をもとに、豊かな自然の中で生きるこどもの群像を、鹿沼の方言を使って描いた物語。
 代表作品「虎ちゃんの日記」「鷹の巣とり」「仁兵衛学校」「高原の春」「けんか」「つけひげ」など

幼年童話 幼児の心理をよくとらえた、動物等を擬人化したり、ユーモラスに描かれた物語。
 代表作品「ワンワンものがたり」「チックタック」など

大衆児童文学 講談社の「少女倶楽部」からの依頼で連載をした少女向け小説など。
 代表作品「陸奥の嵐」「勤皇兄弟」など

再話 翻訳をした作品。
 「トムソーヤの冒険」「ロビンフッドの冒険」など



『ワンワンものがたり』



千葉県三童話全集(全6巻)



作品集『けんか』



省三が編集長を務めた雑誌『童話』

千葉県三略年譜

明治	25年(1892)	亀五郎、ハマの長男として河内郡篠井村に生まれる。
	27年(1894)	父の転任で今市の吉沢に転居。
	31年(1898)	6歳 吉沢尋常小学校2年に飛び級で入学
	32年(1899)	7歳 再び父の転任で鹿沼の楡木に転居、楡木尋常小学校に転校
	34年(1901)	9歳 南押原高等小学校に入学。
	38年(1905)	13歳 宇都宮中学校に入学。半田良平に出会う。
	43年(1910)	18歳 宇都宮中学校を卒業。楡木尋常小学校代用教員になる。
大正	3年(1914)	22歳 半田良平を頼って上京。出版社日月社に入社。
	6年(1917)	25歳 増淵貞子と結婚、荻窪に新居を構える。コードモ社に入社。
	9年(1920)	28歳 童話童謡雑誌『童話』の初代編集長になる。
	12年(1923)	31歳 コドモ社を退社。執筆活動に専念する。
	14年(1925)	33歳 『虎ちゃんの日記』を『童話』に発表。
昭和	3年(1928)	36歳 同人誌『童話文学』を創刊。『鷹の巣とり』を発表。
	10年(1935)	43歳 同人誌『児童文学』を創刊。『みち』を発表。
	18年(1943)	51歳 新潟県南魚沼郡北湯沢に単身疎開。
	31年(1956)	64歳 東京都北多摩郡小平町に転居。
	40年(1965)	73歳 『チックタック』が小学校1年生教科書に採用される。
	42年(1967)	75歳 第2回児童文化賞(モービル石油主宰)受賞。
	43年(1968)	76歳 『千葉県三童話全集』岩崎書店より刊行、第15回サンケイ児童出版文化大賞受賞。
	50年(1975)	83歳 心不全のため永眠。
平成	52年(1977)	『鷹の巣とり』が小学校4年生教科書に採用される。
	4年(1992)	「千葉県三誕生百年ふるさとフェア」開催。
	5年(1993)	楡木町に千葉県三記念館が開館。
	24年(2012)	「千葉県三誕生120年のついで」開催。
	27年(2015)	南押原コミュニティセンター内に千葉県三記念館が開館。



◀コードモ社時代の省三



昭和43年 母校楡木小学校を訪問 (後列右から4人目省三) ▶